

学校運営委員会だより

委員長 上岡 美保

校長 安藤 由季子

開催日時 令和7年10月4日（土）

場 所 世田谷区立用賀小学校 ようがルーム

出席者 学校運営委員 7名 学校関係者評価委員 3名
学校運営委員会事務局 4名

1 学校運営について 校長より

- ・本日、短距離走大会を実施した。雨の心配があったため早めに進行したが、無事に開催できた。子どもたちが自己実現の場を得られたことは大変良かった。
- ・9月には文化庁の事業として、各学年で3回ずつダンス授業を行った。毎回6名ほどのダンサーが来校し、丁寧に指導してくれた。
- ・9月17日に京西小学校にて学び舎の研究授業を実施した。来年は用賀小で実施予定である。
- ・3年生は9月18日にキッザニアへ校外学習に出かけ、充実した活動を行った。
- ・現在、学校公開を実施中であり、先日には道徳授業地区公開講座を開催した。臨床心理士の先生を招いて講演も行った。
- ・本日午後にはゲストティーチャーを招いて算数の特別授業を実施した。
- ・10月末には総合運動場にて、5・6年生による持久走大会を予定している。

2 学校生活について

○教務主任より

- ・10月11月の行事予定の確認

○生活指導主任より

- ・あいさつ運動を継続している。児童のあいさつの声が増えてきたように感じる。
- ・9月から縦割り班活動を開始した。特に低学年が楽しみにしている様子が見られる。
- ・総合的な学習の時間等で学年を越えた交流授業の取組も進めている。
- ・体力面では、短距離走大会を実施した。10月末には高学年で持久走大会があり、朝ランも始まる予定である。
- ・避難訓練は毎月実施しており、警察と連携して不審者対応訓練も行った。児童が体験を通して自分ごととして捉えられるようにしていきたい。

○副校長より

- ・中央校舎2階の床、3階の壁・扉の工事が完了した。西校舎は今後の予定である。
- ・トイレの洋式化を進めており、残っている和式も順次交換していく。
- ・犬走等のコンクリートの欠けている部分については、予算を活用して補修を進めている。
- ・令和8年度の予定を8月から立て始めている。
- ・通学路の危険箇所の合同点検の結果、環八の横断禁止の表示を増設していただいた。今後も白線塗装を予定してくださっている。

- ・一部児童の下校時の態度への指摘がある。

3 各委員からの報告

- ・YCC：11月2日10時よりYCC フェスティバルを開催する。
- ・やぐらの会：無事に盆踊りが終了した。
- ・おや児の会：夏休みに「お泊まりスマイル」および花火大会を実施した。花火大会では約1000人が来場し、想定以上の人数となったため人手が不足する場面もあった。「パフォーマンスをみよ〜よ」にも協力した。
- ・ふれあい広場：毎月定例で開催している。12月には凧揚げイベントを予定している。
- ・避難所運営委員会：来年度、学校と連携して進める予定である。
- ・青少年地区委員会：先日「パフォーマンスをみよ〜よ」を開催した。来月には理事会を予定している。
- ・キッズバンド：YCC フェスに出演予定。夏には盆踊りやはーとあーすで演奏を行った。冬には自主公演を予定しており、6年生は卒業となる。
- ・新宿エイサー：先日浅草でのイベントを終えた。
- ・用賀サマーフェスティバル：8月末に無事開催した。キッズバンドやエイサーも出演し、多くの家族が来場した。今年は20周年を迎え、地域主体での開催となった。

4 各委員からの声

- ・短距離走大会の時間変更について、すぐーるの通知を見逃した保護者がいた。当日のおたよりに分かりやすく記載するとよい。学代との連携も検討したい。火曜日の学校公開について、内容を把握していない保護者も多かった。
- ・校庭のプール側に水が流れていて一段下がっており、危険に感じる。スプリンクラーも危険である。鉄棒の改修やマンホールへの人工芝の設置は良い取組である。
- ・施設開放の方から、側溝に泥が溜まっているという声をよく聞く。地域のつながりづくりを意識したい。
- ・短距離走大会で待っている児童の応援が素晴らしかった。南門側の下校時の様子について、注意が必要な場面もある。道幅に対して歩道が狭く感じる。
- ・児童が走る姿や、終了後に集まって話す様子、すぐに撤収する姿がとても良かった。
- ・旗持ち当番で石屋さんの前に立っていたが、車止めがあることで歩行者天国のように感じている印象がある。子どもからどう見えているのかという目線で考えていきたい。児童館向かいの家から水をかけられる事例も報告されている。
- ・道徳授業公開講座に参加した。
- ・保護者がガードレールの外を歩いていることが多く、子どもも信号や安全設備について深く考えていないように感じる。
- ・直接注意しない大人が増えていると感じる。
- ・用賀地域は地域愛によって支えられていると感じた。